



1. 甚句(盆踊りの太鼓)は「タンタコタンコン」のリズムを刻むよう指導を受ける児童たち / 2. 霊山太鼓の歴史を詳しく教わる / 3. 迫力ある模範演奏を披露する霊山太鼓保存会遠征組 / 4. 最後は児童だけで演奏し、達成感を味わった

## 「伝統、脈々と」

10月5日㊦、掛田小学校6年生34人が霊山太鼓を学びました。掛田小(6年生)では、総合的な学習の時間のテーマを「地域・伝統」としていることから実現したものです。霊山太鼓保存会遠征組から9人が講師として参加し、子どもたちにバチの持ち方や太鼓の打ち方のコツを教えました。短時間で上達した児童たち。「コロナの影響で2年間太鼓の練習をしてなかったけど、この機会に思い出すことができよかった」などと話していました。

### 市長コラム



#### 第38回 若い世代の移住・定住の実現に向けて

伊達市は若い世代の移住・定住に力を入れています。若者が増えることで地域に希望と活力が生まれ、すべての世代が元気になります。そのためには、働く場所、住む場所、そして楽しむ場所が必要です。

まずは「働く場所」ですが、安心して働き、安定した収入を得るためには、近くに働く場を確保する必要があります。現在、相馬福島道路「伊達中央IC」から1kmの場所に新工業団地を造成しています。また、「伊達桑折IC」近くの堂ノ内地区には大型商業施設の出店も決定しました。どちらも伊達市の若者の雇用に大きく貢献するものであり、関連産業と合わせると市内経済への波及効果は計り知れないものがあります。

次に「住む場所」としては、通勤・通学に便利な阿武隈急行高子駅の北側に217区画の住宅団地が完成しました。ここでは、最先端技術を活用し、新デマンド交通やオンライン医療、太陽光発電など環境にも配慮した”新しい街”を整備します。併せて、

商業施設や交流施設、認定こども園などを整備し、子どもから大人まで安心して暮らせる先進的なまちにしていきたいと考えています。

そして「楽しむ場所」ですが、伊達市には、道の駅やまちの駅、霊山こどもの村や森林公園、こどもの遊び場や各種運動施設など地域ごとに楽しめる場所が多くあります。そして今回そこに大型商業施設が加わります。広いモール内を家族や友達で自由に歩き、買い物や食事、イベントやゲームなどを楽しむことができます。子どもから大人まであらゆる世代に楽しい時間を提供してくれる施設だと思っています。

これから数年の間に、伊達市の未来に希望の光となる施設が姿を現します。これらを核としながら魅力あるまちづくりを進め、市民一人ひとりが未来に夢を感じられるまちにしていきたいと思っています。

伊達 博行